

広報

なんせい

第4号

発行 南西糖業株式会社 編集 総務部

〒 891-7621

鹿児島県大島郡天城町兼久高釣 2337

Tel 0997(85)3125 Fax 0997(85)3129

徳和瀬工場

デトラッシャ導入

決断しました！

さて、弊社にとつて長年の課題でありました徳和瀬工場のデトラッシャの更新を、今年の製糖開始に



製糖期をふりかえって

昨年、十二月十九日に開始した製糖は、農家の皆様はじめ関係機関の皆様のご協力のおかげで大きな事故もなく、ほぼ予定通り、四月十六日に終了いたしました。皆様、大変お疲れ様でした。

今期の圧搾量は、二十九万九千トンと、五年ぶりに二十万トンの大台を回復することができました。また、製品歩留は十三・三二%と、平成になつて最良の成績を残すことができました。これは、さとうきびの糖度が高かつたことと、適宜、新鮮な原料を工場に搬入していただいたおかげです。

次期製糖から、サトウキビの代金は国から農家の皆様に直接支払われる金額と

国産糖企業(南西糖業)からお支払いする金額の二通りとなる新たな仕組みに変わります。しかし、私たち南西糖業は、農家の皆様並びに関係機関の皆様と一体となり、徳之島の経済的な繁栄を担っていく運命共同体であることに変わりありません。

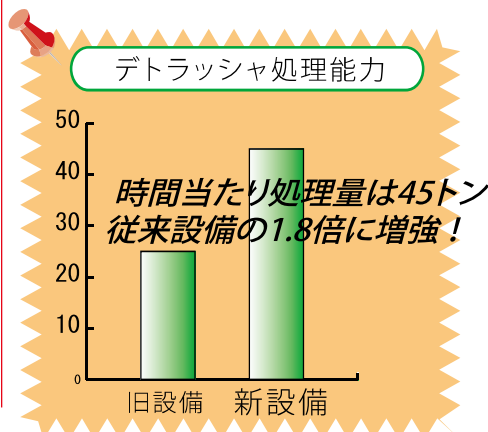
ISO取得

弊社は以前より取り組んでいたISO9001の認証を、平成十九年四月四日付けで取得しました。世間では何かと話題に上る言葉ですが、中身はどういうものなのかはつきりしないとおもいます。要約すると国際的機関が定めた品質規格のもとに製品の品質管理及び品質保



証の規格、基準を作り品質の高い製品を製造することで、顧客満足の向上を指すものであります。この認証を得るには、国際機関が定めた規格要求を全て満たしていないといふ決まりがあり、これを審査し合格して認証取得ということになります。では、何のために取得するのかというと、当社は食品製造会社であり、顧客に安心

合わせ実施することを決断いたしました。当設備は、平土野工場から移設されたものであり老朽化も進んでいるという事と、ハーベスタ原料の増加傾向に一段と拍車がかかり設備能力が限界となり、期待されるトラッシュ除去率が得られなくなった事が更新の大きな理由です。二年前の設備更新見送り以降、農家の皆様や関係機関の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、今回の決断が、さとうきびの



増産に向けて安心して取り組んでいただけるものと確信しております。今後につきましては弊社は、さとうきび増産に向けた施策に全力を傾注する所存です。皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

安全の製品を提供する義務があること。品質の高い製品を提供することにより、顧客(消費者)の信用・信頼を得る事になり、企業イメージの向上につながる事。また、全社員参画により問題意識や改善提案、活動等を活性化させる事により企業発展につながるからです。

ISO9001は、取得後も更に改善が要求されます。弊社は顧客の信頼される製品提供に向けた工夫改善に、今後も取り組んでいきます。

製糖期を終え下

項目	今期	前期
原料搬入量kg	209,384,180	186,125,215
ハーベスター収穫割合%	68.83	60.47
平均原料単価(円)	21,003	20,543
歩留%	13.19	12.67
圧搾日数日	96	86

昨年は台風被害もなくさとうきびの品質が高く工場でも良い成績を収めることができました。

今製糖期の実績は、原料搬入量が五年ぶりに二十万トを上回り圧搾日数が九十六日に達しました。また、買入糖度は糖度取引が始まって二番目に高い品質となり、工場での歩留は平成になつて最も高い成績でした。

弊社の圧搾計画を基にJAあまみで搬入割り当てをしています。搬入量が多めに搬入されることや、工場の故障

等により圧搾できないさとうきびが構内に残ることによりさとうきびの品質劣化が生じ、糖分損失に繋がります。この対策が工場側・集荷体制の両面で急がれるところです。ハーベスター収穫割合については、昨年は六十%程度まで少なくなつたものが、今期はこれまでで最高となりました。今後も同程度か多少の増加を予測しています。これに伴い徳和瀬工場でデトラッシュヤー設備更新が今年行われることになっていきます。能力アップにより増加したハーベスター原料をその日で処理できるようになり、工場で搾られるトラッシュ(梢頭部・はかま等)の量を少なくすることができま。このように、弊社では機械収穫量の増加に対応する設備・方法を導入し、生産農家の皆様が安心してさとうきびづくりが出来るよう設備を整えております。

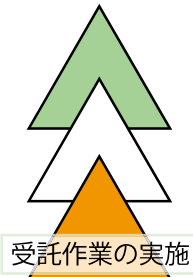


新しい営農集団

新制度に向けて動き出した地域

組合員

ハーベスター作業委託
8,000円/トン 仮払い
必要に応じて株揃え・
根切り・中耕作業を依頼



8,000円/トンの仮受金で
受託したハーベスター作業・
各種管理作業の料金を精算

生産組合

神嶺さとうきび生産組合は徳之島町徳和瀬在住の福山利正さん(六十二歳)を中心に二十六戸の農家が参加している。ハーベスターによる収穫トラクターを活用した根切り、株揃え、中耕作業等の作業受託型生産組合です。生産組合の結成にあたっては、さとうきびの新制度に対し、地域ぐるみで取り組まない、零細農家が崩壊するとの危機感から集落の有志の方々の賛同を得て、弊社職員が事務面の指導を行いました。運営方法の大きな特徴は、ハーベスター料金をトンあたり八千円に仮定し、ハーベスター収穫、収穫後の株揃え・中耕作業を行い、株出作業が一段落した時点で料金を精算しま



福山さん親子

す。この様にすることによって委託者は作業の軽減と支払の一本化がなされ、受託者は受託料の管理作業が軽減されます。また、料金精算の報告を兼ねた総会では組合員が一同に会し製糖期の四方山話を花を咲かせ、組合員の親睦を深めています。

がんばっていまーす!

(野球の達人編 伊仙工場勤務 富 敏秋さん 42才)



私は、昭和五十九年に入社して徳和瀬工場を皮切りに現在は伊仙工場製造課に勤務しています。野球を始めたのは小学校低学年の頃から、野球の指導は平成十年から少年団を六年間、その後中学生への指導となり現在に至っています。少年団、中学校を通して私が目標とするのは、まず挨拶ができ、礼儀正しく、生活面をしっかりできることです。野球の技術面はこれができる事によってすぐに上手くなってきます。一人一人に目を配り基礎を教え、ケガ(肩や肘をさせない)ことで、本当に野球を好きになってほしいと考えています。私の家族も野球が好きで、長男(高二)次男(中二)三男(小六)、長女(小四)が野球をしています。女房は影の監督のようです。私が今日、野球指導を続けられるのも、さとうきび生産農家の皆様、地域の皆様、会社、同僚のご支援と、家族の理解と協力のおかげだと感謝しています。これからも、微力ではありますが、スポーツを通しての子供たちの健全育成に頑張りたいと思います。最後に好きな言葉で締めとします。「人は努力を裏切るが、努力は人を裏切らない」



今製糖期に、喜界島の生田氏、尚氏、伊仙町の大竹興産に続く一〇〇〇トン農家(団体)が誕生しました。

畜産・園芸と複合化する農業経営環境の中でこのような大規模農家が誕生したことは、今後の徳之島型農業の在り方を一つの方向を示すのではないのでしょうか



若山光秀さん

若山光秀さんは、天城町の三京集落を中心に二十ヘクタールの耕作面積にさとうきび生産しています。奥さんと二人の息子の四名でさとうきびと畜産の複合経営を実施しています。

三京地域は不利な条件下(酸性・石混じりの土壌、湿地帯の為に天候による影響は一日の作業の遅れが一週間の遅れとなる等)で、時期や天候を注視しながら判断しなければならぬ難しい面を抱えています。土壌改良に取り組み、何れの圃場も適期植付・適期肥培管理が徹底されて

います。機械化においては先駆者であり、大型機械を有効利用し規模拡大に繋げています。若山さんの農業に取り組み姿は地域はもとより全て農家の模範となるものです。

お話を伺う際に、ご家族の皆さんが楽しそうに農業について語る姿がとても印象的でした。



(有)南洋ファームの皆さん

(有)南洋ファームは平成十五年八月に設立され、さとうきび・畜産を中心とした複合経営を実施しております。南里社長(弊社のOB)の下で七名の従業員がさとうきび部門と畜産部門に分かれて作業に従事しています。

今製糖期は栽培面積二〇ヘクタール、平均単収七トンの好成绩で一四〇〇トンのさとうきび生産がありました。今後の展開として畜産部門の強化(徳之島町畦地区に五〇〇頭収容可能な牛舎を建築中)と耕作面積四十ヘクタールを目指しています。お話を伺った際、中村さん(さとうきび担当)の農業に対する熱意には圧倒されるものがありました。

1,000トン農家誕生

さとうきび
1,000トン
色々な数字に置き換えると

天城町の人々が年間に消費する砂糖は賄うことができます

栽培に必要な面積は
東京ドーム3.6個分です

1本ずつ並べると徳之島を3周します

がんばっていまーす!

(若手 農家編 伊仙町崎原 重伸夫さん 41才)



今回は伊仙町崎原で複合経営を行い、若手のホープとして頑張っている重伸夫さんを紹介します。重伸夫さん(四十一歳、認定農業者歴十年)は伊仙町崎原で、さとうきび十二畝、生産牛三十頭などを中心とした複合経営を行っています。

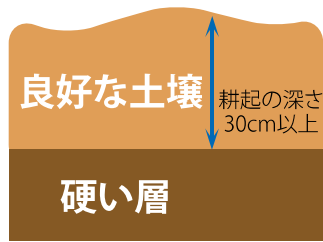
平成十二年度にハーベスタを導入し、株出管理作業などを積極的にを行い、若手のリーダーとして活躍しています。

経営の特徴は、さとうきびと畜産を効果的に組み合わせ、複合経営です。さとうきび梢頭部はかまを飼料および肥料として活用し、家畜排泄物を堆肥として、さとうきび畑へ還元しています。さとうきび栽培は早期植付、管理作業等を徹底し、収穫期のハーベスター運転には専用の作業員を雇用し、ご自身は収穫後の圃場管理作業に専念されています。またパソコンを活用した経営管理の実践を行う等新しい技術への取組を意欲的に行っています。

今後の経営計画は、現行の経営方法を基礎に事業の拡大を図ると共に受託圃場の管理作業の充実等を目指しています。

夏植えのポイント

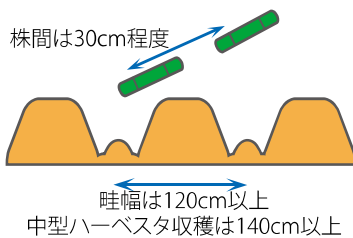
① 土作りと圃場準備



深耕と有機物の投入を行いましょ

- ・さとうきびは深根作物で、根の伸長、発達は生育収量に大きく影響します。そのため、表土の厚さは25～30cm以上が好ましく、耕起の深さは30cm以上が望まれます。
- ・新植の場合は、植え付け前に堆きゅう肥等の有機物資材を2t/10a(地力が弱い場合は4t/10a)散布し、混和しましょう。
- ・土壌pHが低いと収量も品質も低下してしまいます。土壌pHを最適な状態(pH6～7)に改善することも検討してみましょう。

② 良質苗の植え付けと基肥の実施



適正な畦幅・株間に良質苗を多めに植えましょ

- ・苗は、良質の苗を選抜し植付けます、欠株が発生しないようにし補植作業を軽減しましょう。また、冠水設備が整っている圃場では、メリクロン苗を活用するのも有効な手段の一つです。
- ・植付けの際に、畦幅が狭すぎると十分な培土が難しく、倒伏しやすくなり、枯死茎が増えてしまいます。夏植は畦幅を120cm以上にしましょう。
- ・株間についても適正な距離(夏植えの株間は30cm程度)を心がけ、欠株が出やすいと思われる場合は多めに植え込みましょ

クイズに答えて

お砂糖をプレゼント

クイズ

デトラッシャとはどのような仕事をする機械でしょうか

- ① トラッシュ(ごみ)を除去する
- ② さとうきびを収穫する



商品内容
三井製糖(株)
スティックシュガー 1箱

上記の商品を先着40名様にプレゼントします。
ご希望の方は、クイズの答えと住所・氏名・年齢・さとうきびについて一言を記入のうえ、下記の事務局までご応募下さい。

■応募宛先

〒891-7621 大島郡天城町兼久高鈞
南西糖業「プレゼント」事務局

個人情報の取扱いについて

I 個人情報の取得の目的(当社「個人情報保護方針」2.)
当社は、さとうきび農家の皆様から取得した個人情報について、次の目的で取り扱うものとします。

- (1) さとうきび代金の精算のため
- (2) さとうきびの生産振興に資するため

II 個人情報の共同利用について(当社「個人情報保護方針」3.)
〔I〕当社と次の組織との間において、さとうきび農家の皆様の個人情報を、共同利用させていただきます。

1. 農業協同組合との間の共同利用
 - (1) 共同利用される個人データの項目
 - ① 生産者名、② 圃場名、③刈取状態、④ 受入各重量
 - ⑤ 甘蔗糖度、⑥ 原料代金、⑦ 控除金額
 - (2) 共同利用する者の範囲
 - イ. あまみ農業協同組合徳之島事業本部と南西糖業株式会社
 - ロ. あまみ農業協同組合天城事業本部と南西糖業株式会社
 - (3) 利用する者の利用目的
さとうきび代金の精算手続のために、共同利用させていただきます。

2. 共済組合との間の共同利用
 - (1) 共同利用される個人データの項目
 - イ. 原料受入れデータについて
 - ① 原料受入日、② 農家集落名、③ 受入各重量、④ 甘蔗糖度
 - ロ. 営農データについて
 - ① 圃場集落名、② 植付面積(品種・作型別)
 - ③ 過去3カ年の収穫面積、単収、収穫数量
 - (2) 共同利用する者の範囲
南大島農業共済組合と南西糖業株式会社
 - (3) 利用する者の利用目的
共済加入者の諸手続のために、共同利用させていただきます。

〔II〕当該個人データの管理について責任を有する者の名称
南西糖業株式会社 徳之島事業本部 業務部
電話番号 0997-85-3125